

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神奈川社会福祉専門学校
設置者名	学校法人鶴嶺学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務所に備え付け
収支計算書又は損益計算書	学校事務所に備え付け/ホームページの公表 https://www.kanafuku.ac.jp/koukai/
財産目録	学校事務所に備え付け
事業報告書	学校事務所に備え付け
監事による監査報告（書）	学校事務所に備え付け/ホームページの公表 https://www.kanafuku.ac.jp/koukai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2354 単位時間／単位	単位時間 1572/単位	単位時間 330/単位	単位時間 452/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		16 人	0 人	3 人	15 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・介護福祉士及び社会福祉主事養成規則等に基づき授業計画を策定。 ・教育課程編成委員会の意見等も考慮し、授業計画の修正等が必要な場合には、原則的に授業開始の3カ月前までに授業計画を完成させる。 ・授業計画に関しては、教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管し、だれでも閲覧可能な状態としている。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各科目ごとにシラバスによって定められた方法によって評価する。 ・総合点を100点満点とし、A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下で評価する。D評価に関しては、不合格とし履修を認定しない。 （再試験対象） ・各科目の総授業時間に対して、1/3以上欠席した者の履修認定はしない。 （補講の対象）

卒業・進級の認定基準
(概要) ・卒業認定に関しては、教育課程における全科目の修了をもって認定する。 ・教職員による卒業認定会議において認定する。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制 ・電話にて、本人及び保護者への日常的な連絡。 ・本人及び保護者面談の実施 ・家庭訪問の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム等			
(就職指導内容) 履歴書の書き方・面接練習・個別相談（面談）			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格 介護福祉士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	4 人	25.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、体調不良、成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・本人との日常的な面談 ・複数教職員による声かけ、面談 ・保護者との情報共有、面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	社会福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2400 単位時間／単位	単位時間 1710/単位	単位時間 240/単位	単位時間 450/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		45 人	0 人	4 人	7 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・介護福祉士及び社会福祉主事養成規則等に基づき授業計画を策定。 ・教育課程編成委員会の意見等も考慮し、授業計画の修正等が必要な場合には、原則的に授業開始の3カ月前までに授業計画を完成させる。 ・授業計画に関しては、教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管し、だれでも閲覧可能な状態としている。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各科目ごとにシラバスによって定められた方法によって評価する。 ・総合点を100点満点とし、A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下で評価する。D評価に関しては、不合格とし履修を認定しない。（再試験対象） ・各科目の総授業時間に対して、1/3以上欠席した者の履修認定はしない。（補講の対象）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・卒業認定に関しては、教育課程における全科目の修了をもって認定する。 ・教職員による卒業認定会議において認定する。
学修支援等
（概要） ・クラス担任制 ・電話にて、本人及び保護者への日常的な連絡。 ・本人及び保護者面談の実施 ・家庭訪問の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 障害者支援施設等			
（就職指導内容） 履歴書の書き方・面接練習・個別相談（面談）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 社会福祉主事任用資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	2 人	7.7%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、体調不良、成績不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・本人との日常的な面談 ・複数教職員による声かけ、面談 ・保護者との情報共有、面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	250,000 円	600,000 円	330,000 円	入学検定料、演習費、施設費、維持費
社会福祉科	250,000 円	600,000 円	330,000 円	入学検定料、演習費、施設費、維持費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自校ホームページに公表 https://www.kanafuku.ac.jp/koukai/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 産業界等のニーズに即した人材育成教育を行うため、企業等の学校関係者より、最新の情報、現場からの有用な意見を得ることが必要である。そのために学校自己評価委員会を立ち上げた。また、その意見をもとに学校関係者評価委員会に反映させている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人 恵仲会	令和6年4月1日 ~ 令和8年3月31日	福祉企業関係者
道塾 慶陽館	令和6年4月1日 ~ 令和8年3月31日	教育関係者
NPO 法人トータルライフサポートクラブ	令和6年4月1日 ~ 令和8年3月31日	NPO 法人関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自校ホームページに公表 https://www.kanafuku.ac.jp/koukai/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kanafuku.ac.jp/
--